



ブロックの動き・県連の動き

■東海・北陸ブロック

第12回総会開催



東海・北陸ブロック第12回総会は、5月27日～28日77名（静岡10、石川20、福井36、富山11）が参加して、福井県坂井市「三国観光ホテル」で開催されました。

藤田利男ブロック会長の主催者挨拶、伊藤進福井県連会長の地元歓迎挨拶のあと、来賓挨拶（橋本勝六日本勤労協事務局長、龍田清成社民党福井県連合会代表、谷口倫章福井県平和・環境・人権

センター事務局長）を受けました。

議事に入り、宮下正一ブロック事務局長から①経過報告②運動方針（案）③予算（案）と物資販売事業の促進④役員を選任（案）について提案されました。

記念講演では、茂 幸雄氏（NPO法人「心に響く文集・編集局」代表理事）が「自殺したらあかん（東尋坊からのメッセージ）」と題して講演しました。

講演終了後、「藤間勢重郎」さんの日本舞踏の踊りが披露された夕食交流会を行い参加者は一堂に会して親睦・交流を深めました。

二日目は、2つの分散会で約2時間にわたり活動交流・討論を行った後、全体集会に移り分散会報告、方針・会計、全体まとめが満場一致で承認されました。

新役員 会長 藤田利男（石川） 副会長 堀内武治（静岡） 酒井桂之（富山）

事務局長 宮下正一（福井）

幹事 福井豊（静岡） 中村均（富山） 細川武（石川） 水上賢市（福井）



（静岡県連 福井豊）

■ 関東甲信越ブロック 第12回総会を開催

関東甲信越ブロック総会開催 6月24日(日) 25日(月) 新潟県弥彦温泉 名代家で開催
第12回定期総会は32名が出席して盛大に開催された。萩原会長のあいさつで始まり、新潟県連長岡会長の歓迎のあいさつ、来賓として竹内新潟市議会議員からあいさつを頂き、笹川議長のもとで、2016.2017年度活動報告と決算報告、監査報告を承認。2018.2019年度の運動方針、予算を可決した。単協報告では、4県連から報告があり、組織問題において、組織の存続問題が表面化したとの報告の一方で、組織加盟により組織が拡大したとの報告があった。二日目は、「日本の百姓は絶滅危惧種？」と題して、百姓塾主宰 堀井 修先生から講演を聴講した。役員改選で、会長に 清水可晴 長野県連 副会長に 南雲鋭一 群馬県連 副会長に 萩原敏明 栃木県連 事務局長兼会計に 梨本重雄 新潟県連を選出し、二年後に、群馬県での開催を決め閉会した。
(長野県連 清水可晴)



■ 九州勤労協

「黒豚と焼酎で歓迎します」 31回・九州総会は西郷（せご）どんの鹿児島島で決定！



九州勤労協連絡会議は5月30日に今年度の幹事会を宮崎市で開き、31回の総会は鹿児島県勤労協の担当として、桜島を目の前にできる鹿児島市・「ホテル・ウェルビューかごしま」を会場とすることで決定しました。

期日は18年の8月19日(日)から20日(月)の一泊二日の日程で規模は沖縄を含めた九州各県から100人の参加を予定しています。

地元実行委員会は、昨年度総会の議案書広告を見

本にして、すでにアタック？を展開中。友誼団体のみならず幅広い企業に出稿を依頼する計画です。

実行委員の一人は「(鹿児島名物の)黒豚と(数種類のうまい)焼酎をたっぷり用意します。楽しみに来てたもんせ」とアピールしています。

(写真 上：九州7県が参加した宮崎会議 下：桜島)

(熊本市勤労協 矢野俊雄)



■福島県勤労協

第28回定期総会を開催

福島県勤労者協議会連合会は5月12日、福島市「ラコパふくしま」で第28回定期総会を開催しました。

総会には、社民党県連紺野長人代表、県平和フォーラム角田政志代表、全労済福島推進本部今泉裕本部長が来賓として出席され、茂木憲夫県連会長が「県連としての最大の課題は組織の再建と活性化。勤労協運動の意義と存在を再認識し、組織作りの討論を始めている地域も出てきている。この機運を全県に広げていきたい」と挨拶しました。

懸案であった役員体制は、茂木会長が顧問に就任し、齋藤泰雄会長（会津若松）・三浦正弘事務局長（福島）の新体制を確認して今後の活動を進めることとした。

2018年度役員

会長・齋藤泰雄 副会長・角田政志、譲矢隆、八巻利行 事務局長・三浦正弘
事務局長次長5名 幹事3名 会計監査1名 事務局員1名

（福島県連・八巻利行）



■石川県勤労協

第37回定期総会・研究集会を開催

石川県勤労協第37回定期総会は4月22日ホテルウェルネス「能登路」で開催されました。会長、来賓挨拶、メッセージのあと議事がありました。2018年度活動方針、予算案では「交付金を昨年度並みに努力したい。ブロック総会への結集、昨年度以上の物販の強化、フォーラム石川の加賀地区開催、県内各種の連帯活動の取り組み」が一括提案され可決されました。

総会に引き続き、第37回研究集会を開催しました。

今年度は現地報告ということで小松爆音訴訟原告団団長・長田孝志さんに「小松基地撤去の闘いについて」と、命のネット事務局長・多名賀哲也さんに「志賀原発廃炉に向けての闘いについて」報告してもらいました。この二つの闘いは、ここ数十年にわたって続いていることで、私たち勤労協も追求している課題でもあります。今後も皆様の支援をお願いいたします。

（石川勤協連情報 NO198 より抜粋）

■長野県勤労協

第56回定期総会を開催

長野県勤労者協議会 第56回定期総会 5月27日
（日）午前10時 岡谷総合福祉センターにて開催。総会には、役員、単協代議員、来賓20名が参加。三井会長のあいさつ、来賓各位から祝辞を頂き、2017年度の報告と決算・監査を承認。2018年度活動方針と予算を可決した。事業計画では、長野県に対する県政要求を重点化する



る。第12回関東甲信越ブロック総会に14名参加する。全国総会に向けて喜多方ラーメンの目標を達成する。などを活動の柱に取り組むことを確認した。組織強化では、中野市勤労協が再建し県勤に加盟する。飯田市勤労協が組織加盟に取り組み、2,200名の会員拡大があった。

(長野県連・清水可晴)

■ 静岡県勤労協

第56回定期総会を開催

静岡県連は第56回定期総会を6月16日(土)13時から勤労者総合会館で開催しました。

堀内会長の挨拶では「平和の問題、貧困と児童虐待、環境問題」の3つの問題提起があり、続いて来賓からの挨拶をいただきました。

この後、議事に入り、福井事務局長から2017年度活動報告・決算報告と2018年度活動方針・予算案を提案しました。活動方針では①県勤協連が統一して取り組む4つの運動課題②具体的な活動の展開③県勤協連組織の強化と拡大の方針が提案され、満場一致で採択されました。

(静岡県勤協連ニュース NO334 より抜粋)



ZENROSAI NEWS

全労済 公式キャラクター ヒットくん

おかげさまで60周年

全労済の住みいる共済	火災共済・自然災害共済	こくみん共済	総合医療共済
おせいめい共済	マイカー共済	自賠責共済	団体生命共済
交通災害共済	新セット移行共済		

全労済は、営利を目的としない保障の生協として 保障のことなら 共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払い 全労済 いただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。